



♪輪をつくり 手をつなぎ 共に歌って学ぼう♪

ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
令和6年6月末発行
第3号
文責：森谷 弘昭

令和6年度 第1回学校運営協議会が開催されました

学校運営協議会は年に3回（第1回5月、第2回10月、第3回2月）開催されます。今年度は、学校経営の中核をなす「子供も、教師も、保護者・地域も『楽しむ』学校」の実現に向け、船出いたしました。委員の皆様からのご承認とご意見を賜り、今後はさらに経営の改善を図ってまいります。近年、地域の有効な人的・物的資源がもたらす役割は全国的にますます大きくなっていると感じています。ここ明治地区もその言葉の通り、多大なる恩恵を受けており、心から感謝する次第です。今後ともよろしくお願いいたします。

今年度の委員の皆様は次の方々です。活動とともにご承知おきいただき、ご支援、ご協力をお願いいたします。なお、齋藤 弘雄 様には地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を昨年度に引き続きお願いしております。

佐藤 博雄	会長	(明治コミュニティセンター所長)	安達 敏一	委員	(明治コミュニティセンター運営委員会議事)
安達 好行	副会長	(明治地区町内連合会長)	松崎 学	委員	(教育活動アドバイザー)
小林 広美	委員	(教育振興会長)	多田 照美	委員	(児童保育「ひしのみこどもクラブ」指導員)
真壁 正則	委員	(社会福祉協議会会長)	高梨 由起	委員	(明治小学校元PTA会長)
佐藤 恒	委員	(明治小学校同窓会長)	小林 藤幸	委員	(明治小学校PTA会長)

モンテ夢クラス

6/1に、4・5年生がモンテディオ山形の2選手を招いて親子行事を行いました。体育館内で一緒にサッカーをしたり、一人一人が夢を語り合ったり、選手に質問したりと、思い出多い素敵な時間になりました。記念にプレゼントやサインなどをいただきました。

さくらんぼ贈呈式

今年も明治地区果樹組合の皆さんから立派な佐藤錦をいただきました。山形新聞 6/18 号にも動画付きで紹介されていますので、是非ご覧になってください。給食の時間に、明治地区自慢の貴重な産物を有難くいただきました。

水泳学習

6月初旬には上学年の力でプールをピカピカに清掃しました。今年度からは、安全面と能力別学習の充実、指導の効率化を図るため、全校生・全担任が同じ時間帯に水泳学習を行っています。中旬から学習が始まり、7月末まで続けます。6/21のフリー参観でもご覧いただきました。

7、8月の主な予定

1日(月) 通学班長会、児童引き渡し避難訓練	18日(木) クラブ活動
3日(水) 上学年演劇教室	19日(金) 学習参観
4日(木) 小体連水泳スポーツ教室(1～6年)	PTA 教育講演会は7/7の研修
5日(金) 委員会活動	大会への参加・協力があるため、
7日(日) 市PTA 連合研修大会(七中学区主管)	今年度は実施いたしません。
8日(月) 通学班会	24日(水) クラブ活動
9日(火) なかよし班活動、読み聞かせ	25日(木) 6年水泳スポーツ教室
10日～11日 6年：関東方面修学旅行	26日(金) 6年市小学校水泳記録会
15日(月) 海の日	30日(火) 1学期終業式
16日(火) 校外子ども会、読み聞かせ	31日(水)～8/28(水) 夏季休業
	8/29(木) 2学期始業式

創立133周年記念式を行いました

今日は、明治小学校の誕生日を祝う日です。同窓会長の佐藤恒様をはじめ、たくさんのお客様がお祝いにおいでくださいました。大変ありがとうございます。

さて、これから学校に関係するお話をするため、1枚の写真(1)を見てもらいます。大きな石の塊がありますね。これを石碑と言い、一年生から三年生の畑の近くにあります。

では、その石にはなんという文字が刻まれているでしょう。これを「供養塔」と読みます。

まず、供養とは簡単にいうと「亡くなられた方が安らかに眠れるよう祈ること」、供養塔とはその方を供養するために建てられた塔です。ということは、この塔の下には、亡くなられた方が眠っているのでしょうか。

その答えは、次の※写真(2)の中にあります。「学校では、昭和のはじめごろから さかんに いなごとりをしました。そのいなごをくようするため、昭和13年に建てたのがこの供養塔です。」

答えは、いなごのための供養塔で今から86年前に建てられました。いなごは虫のことで、田んぼに住んでいます。今から百年前にいなご採りが盛んだとしても、いなごが学校とどういう関係があるのでしょうか。

その答えは、『明治小学校百年』という記念誌に、こう記されています。昭和11年、食糧増産と学校資金収益を兼ねて、いなごとりはますます盛んになった。いなごとりは明治42年ごろから実施されており、その収益金で、校旗、優勝旗、梅苗木、少年消防隊用ポンプ、陸軍へ献金、出兵兵士ののぼり旗、ラジオ拡声器などの購入に使用された。家からまっすぐいなごりに出かけ、決められた時刻に学校にかえってくるという日が一週間も続き、勉強はいなごとりでということであった。

ここから、いなごとりは今から115年前から約40年間、行われていたこと、日本が戦争をしている時代に食べ物がなかなか手に入らない時、貴重な食べ物になったり、捕まえるとお金と交換できたり、そのお金で学校に必要な物を買えたりしたこと、いなごとりが勉強だったということが分かります。

皆さんは、いなごを食べたことがありますか。実際は、いなごを醤油と砂糖で煮て佃煮にして食べることが多いのですが、そもそも虫を食べるなんて考えられないという人もいるでしょう。いまここに実物はありませんが、山形では今でもいなごを食べる文化が残っていますし、栄養も満点なのです。

そう考えると、皆さんの先輩方は、食べ物がなくて困っていたときに、いなごから自分の命を救ってもらっており、いなごの命をいただいていることに感謝し、忘れないようにと供養塔を残したのかもしれない。

この話は、今から20年前の道徳の本の題材にも載っています。それくらいとても珍しい話なのです。創立記念式が終わった後、教室でこの話を担任の先生から読んでもらってください。明治小学校の長い歴史の中に、いのちを大切にすることと文化が脈々と続いています。これまでたくさんの先輩方が築いてきた歴史と伝統を誇りに思い、大事に受け継ぎながら私たちには何ができるかを考え、新しい時代に即した明治小学校を創り続けていきましょう。(校長式辞より)



写真(1)



※写真(2)

※写真(2) 教育出版「道徳副読本」より引用

明治小のお祝いの言葉
(中略)これから、明治小だからこそできた楽しい学びを話したいと思っています。これまで、学習を通して出会った人、お世話になった人がたくさんいました。まずは、一年生の時の入学式です。同じ学年の友達と初めて会った日です。とても緊張をしていましたが、友達や先生と出会って、これからの学校のことが楽しみになったことを覚えています。
次は、一・二年生一緒にひしのみ発表会で「おおきなかぶ」の劇を全校生の前で披露したことです。スマイルグリーン号が劇の中に登場して、大きなかぶを乗せていく劇にしたのが思い出です。
次に、四年生から続けている「夢の立谷川プロジェクト」です。立谷川をきれいにするために、自分たちに何ができるかを考えて取り組んでいます。川のことについて地域にお住いの秋葉さんにいろいろなことを教えていただきました。
六年生になってからは、河原に花台を置くために、齋藤さん、安達さんに力をお借りして、木で立派な台を作ることができました。今年こそは、立谷川の河原にきれいな花を咲かせたいと思います。
このように明治小ではたくさんの人と出会い、支えられてきて、私たちは成長してきました。百三十三歳になった明治小、いろいろな人と出会わせてくれたありがとうございます。そして誕生日おめでとうございます。これからもよろしくお願ひします。

六年児童代表